

# 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ  
 コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 050-3508-5835

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,871	16.9	170	10.4	362	60.3	248	46.9
2022年3月期第1四半期	1,600	7.7	154	41.8	225	38.2	169	29.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 443百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 29百万円 ( 90.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.47	
2022年3月期第1四半期	13.26	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	15,575	13,311	85.0	1,036.76
2022年3月期	15,313	13,186	85.6	1,027.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,233百万円 2022年3月期 13,111百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		25.00	25.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,630	6.8	470	5.7	650	9.4	500	15.9	39.17
通期	7,500	5.8	1,040	10.1	1,430	3.1	1,020	3.5	79.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,934,946 株	2022年3月期	13,934,946 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,170,268 株	2022年3月期	1,170,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	12,764,678 株	2022年3月期1Q	12,764,678 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染者数はワクチン接種の普及により減少傾向が続き、行動制限の緩和や外国人観光客の受け入れ再開など、経済活動の正常化に向けた動きが見受けられました。しかし、製造業においては世界的な半導体不足に加え、原材料価格やエネルギー価格の高騰、さらに2022年3月以降急速に進行している円安の影響により仕入れコストは大幅に増加しており、本格的な回復には至りませんでした。今後につきましては、さらなる国内経済の活性化・景気回復が期待されますものの、新たな変異株の発生による新型コロナウイルス感染症急拡大への懸念や、資源価格を中心としたインフレの拡大懸念など先行きは不透明な状況が続いております。海外経済においては、先進国を中心にワクチン接種や経口治療薬の普及が加速したことで、経済活動は緩やかな回復傾向で推移しましたが、ロシアによるウクライナ侵攻は、エネルギー価格の上昇や貿易・サプライチェーンの制約などさまざまな経路を通じて世界経済の下振れ要因となり、回復ペースを鈍化させました。今後につきましては、ウクライナ問題は長期化の様相を見せており、地政学的なリスクがもたらす経済損失により世界経済は大幅に減速し、さらには資源、材料価格の上昇が加速することも予想されるなど、先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分注意を払いつつ、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売においては、工場設備市場において、医療機関・医薬品工場向けマグネットミキサーの好調などにより、販売を伸ばしました。海外顧客向け販売においては、北米地域やその他の東アジア地域向けなどの販売が好調に推移した結果、販売活動全体としては前期を大きく上回る結果となりました。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せない状況の中、感染予防対策の徹底とより一層の注意を払った行動を意識し、社内の新型コロナウイルス感染症による操業の停止を最小限に抑制します。また品質管理面においては、市場クレーム再発ゼロ、重要品質改善テーマ再発ゼロなど再発防止を徹底し、製品開発においては、開発遅れを徹底的に防止します。販売活動においては、引き続き行動制限が予想されるため、ターゲットを適切に選定しアクションプランとして着実に進捗を図ります。そして生産活動においては、インフレ抑制の為に一層の原価低減策を立案・実行し、また仕入原価上昇に加え、物流の遅延や二社購買、安定納入の観点からも事業継続計画と絡ませて検討してまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開しました結果、連結売上高は18億71百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底しました結果、営業利益は1億70百万円（前年同期比10.4%増）、経常利益は3億62百万円（前年同期比60.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億48百万円（前年同期比46.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は155億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億61百万円増加しました。主に現金及び預金が4億9百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が68百万円増加したこと、投資有価証券が3億67百万円増加したことなどによります。

負債は22億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加しました。主に未払法人税等が2億27百万円、役員退職慰労引当金が1億96百万円減少したものの、その他の流動負債が6億14百万円増加したことなどによります。

純資産は133億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加しました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益を2億48百万円計上した一方、配当金を3億19百万円支払ったことなどにより利益剰余金が70百万円減少したものの、為替換算調整勘定が2億26百万円増加したことなどによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月16日付決算短信にて開示いたしました予想値から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響につきましては、今後の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,884,201	2,474,940
受取手形及び売掛金	1,850,718	1,919,157
電子記録債権	813,672	872,803
商品及び製品	947,080	988,550
仕掛品	692,880	728,327
原材料及び貯蔵品	841,266	926,411
その他	209,284	227,312
貸倒引当金	△13,226	△14,858
流動資産合計	8,225,877	8,122,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,481,446	3,606,575
減価償却累計額	△1,975,517	△2,025,659
建物及び構築物 (純額)	1,505,929	1,580,915
機械装置及び運搬具	3,821,213	3,953,738
減価償却累計額	△2,607,965	△2,746,371
機械装置及び運搬具 (純額)	1,213,247	1,207,366
土地	1,160,390	1,173,055
リース資産	127,854	129,662
減価償却累計額	△62,403	△66,337
リース資産 (純額)	65,450	63,324
建設仮勘定	94,958	86,742
その他	1,162,010	1,177,063
減価償却累計額	△1,077,673	△1,093,639
その他 (純額)	84,336	83,424
有形固定資産合計	4,124,313	4,194,830
無形固定資産	46,118	42,868
投資その他の資産		
投資有価証券	2,459,856	2,827,670
その他	496,092	430,750
貸倒引当金	△39,090	△43,653
投資その他の資産合計	2,916,858	3,214,767
固定資産合計	7,087,290	7,452,467
資産合計	15,313,167	15,575,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	622,796	661,969
未払法人税等	270,731	43,679
賞与引当金	159,589	86,950
その他	265,049	879,448
流動負債合計	1,318,165	1,672,047
固定負債		
リース債務	47,432	44,514
役員退職慰労引当金	315,671	118,912
退職給付に係る負債	407,172	390,190
資産除去債務	38,114	38,126
固定負債合計	808,391	591,744
負債合計	2,126,556	2,263,792
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	8,440,367	8,369,802
自己株式	△454,777	△454,777
株主資本合計	12,552,170	12,481,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,568	3,328
為替換算調整勘定	522,345	748,997
その他の包括利益累計額合計	558,913	752,325
非支配株主持分	75,526	77,388
純資産合計	13,186,611	13,311,319
負債純資産合計	15,313,167	15,575,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,600,878	1,871,858
売上原価	955,036	1,057,178
売上総利益	645,841	814,679
販売費及び一般管理費	491,084	643,752
営業利益	154,756	170,926
営業外収益		
受取利息	9,273	13,738
受取配当金	3,396	5,440
持分法による投資利益	38,187	49,019
為替差益	10,600	122,144
その他	10,818	3,372
営業外収益合計	72,276	193,716
営業外費用		
支払利息	481	368
匿名組合投資損失	376	833
その他	210	1,144
営業外費用合計	1,068	2,346
経常利益	225,964	362,296
特別利益		
投資有価証券売却益	7,833	-
特別利益合計	7,833	-
税金等調整前四半期純利益	233,797	362,296
法人税、住民税及び事業税	34,237	22,428
法人税等調整額	27,736	89,454
法人税等合計	61,974	111,882
四半期純利益	171,822	250,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,594	1,861
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,228	248,551

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	171,822	250,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,790	△33,239
為替換算調整勘定	△111,494	201,260
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,377	25,391
その他の包括利益合計	△142,662	193,412
四半期包括利益	29,160	443,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,566	441,963
非支配株主に係る四半期包括利益	2,594	1,861

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる時価の算定方法に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	1,481,022	119,855	1,600,878
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,481,022	119,855	1,600,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,251	399,510	421,762
計	1,503,274	519,366	2,022,641
セグメント利益	109,591	40,079	149,671

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額  
の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	149,671
棚卸資産の調整額	5,085
四半期連結損益計算書の営業利益	154,756

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	1,689,936	181,921	1,871,858
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,689,936	181,921	1,871,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,037	404,114	429,151
計	1,714,974	586,035	2,301,010
セグメント利益	102,764	96,339	199,103

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	199,103
棚卸資産の調整額	△28,176
四半期連結損益計算書の営業利益	170,926